

平成28年度学校保健統計調査結果

和歌山県の概要

学校保健統計調査について

この調査は、学校保健安全法により毎年定期的に行われている健康診断の結果に基づき、学校における児童、生徒及び幼児の発育及び健康の状態を明らかにし、学校保健行政上の基礎資料を得ることを目的に、統計法に基づく基幹統計調査として文部科学省が毎年実施しています。

調査の範囲は、小学校、中学校、高等学校、幼稚園（幼保連携型認定こども園を含む）のうち、文部科学大臣があらかじめ指定する学校としており、調査の対象は、調査実施校に在籍する満5歳から17歳（平成28年4月1日現在）までの児童、生徒及び幼児としています。調査事項は発育状態と健康状態であり、発育状態調査については、年齢別、男女別に系統抽出法により対象児童等を抽出し、健康状態調査については、調査実施校の在学者全員を対象としています。

和歌山県の調査対象数

学校種別	学 年	年 齢	幼児、児童、 生徒総数 (人)	調査対象校 (園)数	調査対象者数(人)	
					発育状態 身長・体重	健康状態
合 計			104,946	150校(園)	13,089	55,820
幼稚園		5歳	3,053	29園	1,109	1,685
小学校	1年生	6歳	7,632	58校	883	3,207
	2年生	7歳	7,974		879	3,452
	3年生	8歳	7,950		893	3,447
	4年生	9歳	7,933		878	3,386
	5年生	10歳	7,881		882	3,422
	6年生	11歳	8,099		893	3,465
	計		47,469		5,308	20,379
中学校	1年生	12歳	8,625	38校	1,480	4,912
	2年生	13歳	8,840		1,496	4,958
	3年生	14歳	9,312		1,491	5,206
	計		26,777		4,467	15,076
高等学校	1年生	15歳	9,364	25校	735	6,289
	2年生	16歳	9,126		735	6,137
	3年生	17歳	9,157		735	6,254
	計		27,647		2,205	18,680

※ 年齢は、平成28年4月1日現在の満年齢です。

※ 調査対象者は、幼稚園については5歳児のみで、高等学校については、満18歳以上の生徒及び通信制課程の生徒は除きます。

調査結果の概要

発育状態

1. 和歌山県の児童・生徒の体格（平均値）… 表1、図1

(1) 身長

男子の身長は、5歳、9歳、10歳、15歳、16歳、17歳の各年齢で全国平均を上回っています。

女子の身長は、5歳、6歳、8歳、9歳、10歳、13歳、15歳の各年齢で全国平均を上回っています。

(2) 体重

男子の体重は、9歳、10歳、13歳、14歳、15歳、16歳、17歳の各年齢で全国平均を上回っています。

女子の体重は、5歳、6歳、8歳、9歳、12歳、13歳、14歳の各年齢で全国平均を上回っています。

2. 平成10年度生まれ（17歳）の者の年間発育量 … 表2、図2-1，2-2

(1) 身長

平成10年度生まれ（17歳）の年間発育量をみると、男子では11歳から12歳時に発育量が著しくなっており、11歳時に最大の発育量を示しています。

女子では、10歳から11歳時に発育量が著しくなっており、10歳時に最大の発育量を示しています。

(2) 体重

平成10年度生まれ（17歳）の年間発育量をみると、男子では、11歳から12歳時に発育量が著しくなっており、11歳時に最大の発育量を示しています。

女子では、11歳から12歳時に最大の発育量が著しくなっており、11歳時に最大の発育量を示しています。

3. 親の世代（30年前の昭和61年度の数値）との比較 … 表3、図3-1，3-2

(1) 身長

平成28年度の身長を親の世代（30年前の昭和61年度の数値）と比較すると、男子では、5歳、6歳、7歳、16歳を除くすべての年齢で30年前の平均身長を上回っており、最も差が大きいのは13歳で2.3cm高くなっています。

女子では、5歳、14歳、16歳、17歳を除くすべての年齢で30年前の平均身長を上回っており、最も差が大きいのは10歳で1.8cm高くなっています。

(2) 体重

平成28年度の体重を親の世代と比較すると、男子では、5歳～7歳を除くすべての年齢で30年前の平均体重を上回っており、最も差が大きいのは17歳で2.6kg重くなっています。

女子では、5歳、15歳、17歳を除くすべての年齢で30年前の平均体重を上回っており、最も差が大きいのは8歳と9歳で1.2kg重くなっています。

4. 肥満傾向児及び痩身傾向児の出現率 … 表4、図4-1, 4-2

(1) 肥満傾向児

肥満傾向児の出現率は、男子では、10歳～12歳、15～17歳の各年齢で10%を超えており、15歳で12.55%と最も高くなっています。また、5歳と8歳を除くすべての年齢で全国値を上回っています。

女子は、各年齢で10%を超えることはなく、16歳の9.21が最も高くなっています。また、5歳～9歳、13歳、14歳、16歳の各年齢で全国値を上回っています。

(2) 痩身傾向児

痩身傾向児の出現率は、男子では6歳、9歳～16歳の各年齢で1%を超えており、10歳で4.53%と最も高くなっています。また、5歳、6歳、7歳、9歳、10歳、11歳で全国値を上回っています。

女子では、9歳～17歳で1%を超えており、11歳が4.05%と最も高くなっています。また、11歳、14歳、17歳の各年齢で全国値を上回っています。

表1 発育状態調査結果

		身長 (cm)				体重 (kg)			
		平均値				平均値			
		男		女		男		女	
		和歌山	全国	和歌山	全国	和歌山	全国	和歌山	全国
幼稚園	5歳	110.5	110.4	109.7	109.4	18.8	18.9	18.6	18.5
小学校	6歳	116.3	116.5	115.8	115.6	21.4	21.4	21.2	20.9
小学校	7歳	122.0	122.5	121.2	121.5	23.9	24.0	23.2	23.5
小学校	8歳	127.8	128.1	127.5	127.2	27.1	27.2	26.9	26.4
小学校	9歳	133.7	133.6	133.8	133.4	30.8	30.6	30.5	29.8
小学校	10歳	139.2	138.8	140.3	140.2	34.4	34.0	34.0	34.0
小学校	11歳	144.8	145.2	146.2	146.8	38.3	38.4	38.2	39.0
中学校	12歳	152.7	152.7	151.6	151.9	44.0	44.0	43.9	43.7
中学校	13歳	159.7	159.9	155.0	154.8	48.9	48.8	47.4	47.2
中学校	14歳	165.1	165.2	156.2	156.5	54.0	53.9	50.2	50.0
高等学校	15歳	168.7	168.3	157.3	157.1	59.5	58.7	51.1	51.7
高等学校	16歳	170.0	169.9	157.1	157.5	61.2	60.5	52.6	52.6
高等学校	17歳	171.1	170.7	157.4	157.8	63.4	62.5	52.7	52.9

図1 年齢別身長・体重（和歌山県）

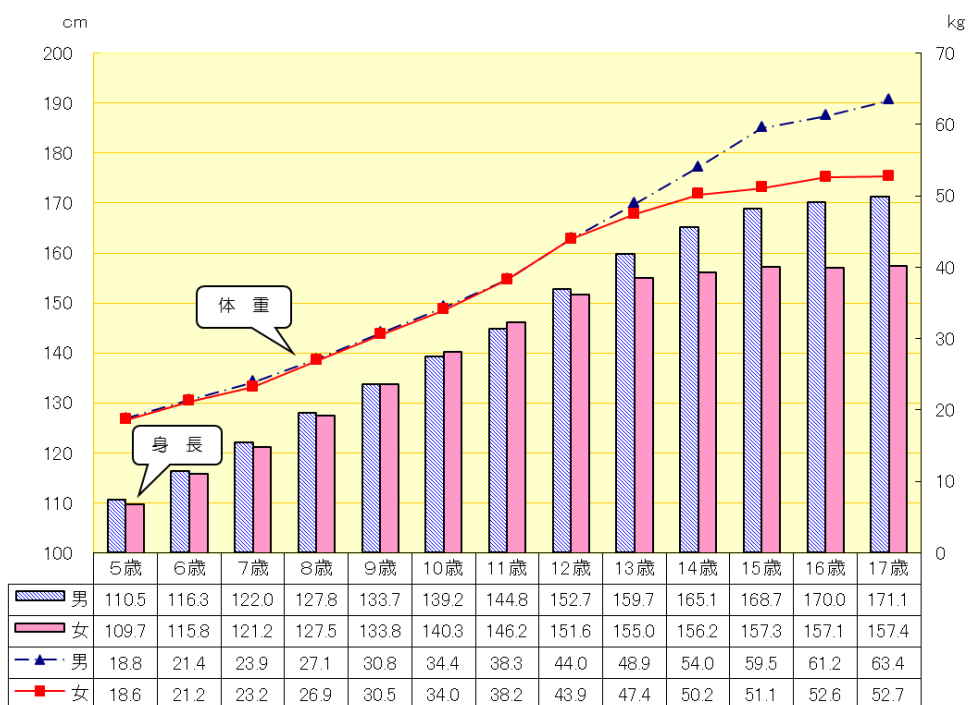


表2 平成10年度生まれの者の年間発育量

区分		身長(cm)				体重(kg)			
		男子		女子		男子		女子	
		和歌山	全国	和歌山	全国	和歌山	全国	和歌山	全国
総発育量		60.6	59.8	47.2	47.8	44.6	43.4	34.1	34.2
幼稚園	5歳時	6.5	5.7	5.4	5.8	3.0	2.5	2.3	2.4
小学校	6歳時	5.0	5.9	5.9	5.9	2.1	2.6	2.4	2.5
	7歳時	5.8	5.8	5.7	5.7	3.3	3.2	3.4	3.0
	8歳時	5.5	5.4	6.2	6.2	3.0	3.4	3.7	3.5
	9歳時	5.4	5.2	6.4	6.7	3.3	3.4	3.5	4.0
	10歳時	6.0	6.1	7.0	6.5	4.3	4.2	5.1	4.9
中学校	11歳時	7.7	7.3	4.7	5.1	7.0	5.4	5.3	4.6
	12歳時	6.1	7.2	2.9	3.1	3.5	5.2	3.1	3.8
	13歳時	6.2	5.5	2.4	1.5	5.5	5.0	3.0	2.5
高等学校	14歳時	4.3	3.3	0.1	0.5	6.6	4.9	1.5	1.5
	15歳時	0.2	1.5	0.6	0.6	-0.8	1.7	0.1	1.2
	16歳時	1.9	0.9	-0.1	0.2	3.8	1.9	0.7	0.3

※ 年間発育量とは、例えば、平成10年度生まれの「5歳時」の年間発育量は、平成17年度調査6歳の者の体位から平成16年度調査5歳の者の体位を引いたものです。

図2-1 平成10年度生まれの者の年間発育量
(身長)

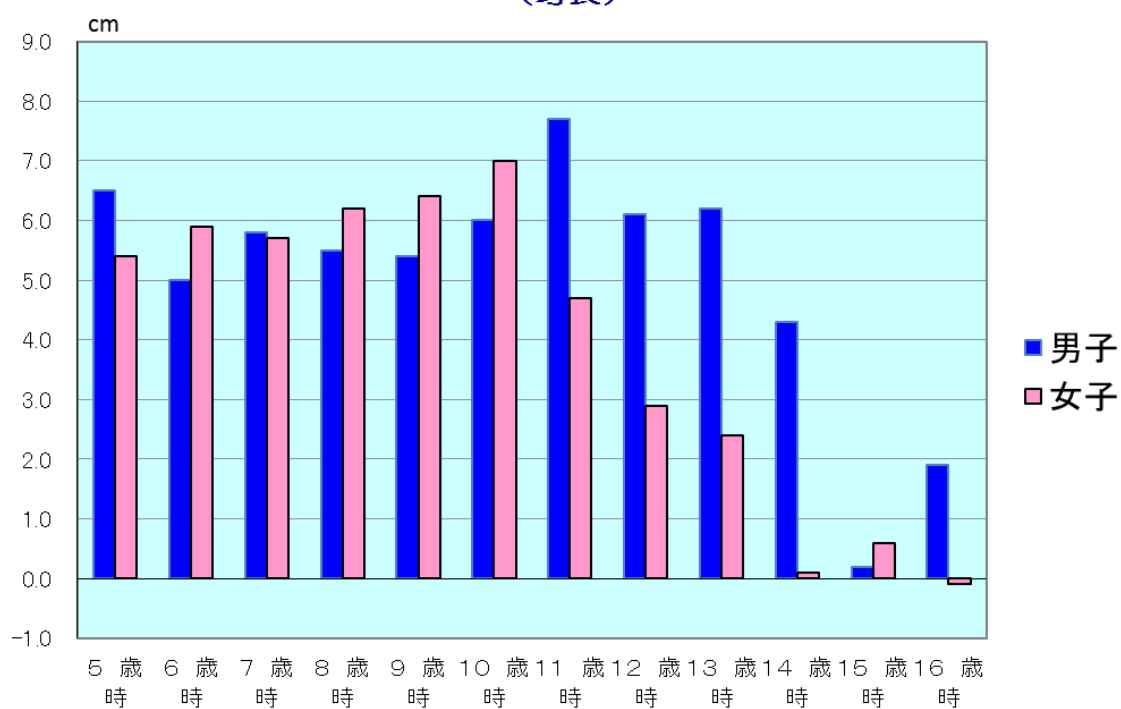


図2-2 平成10年度生まれの者の年間発育量
(体重)

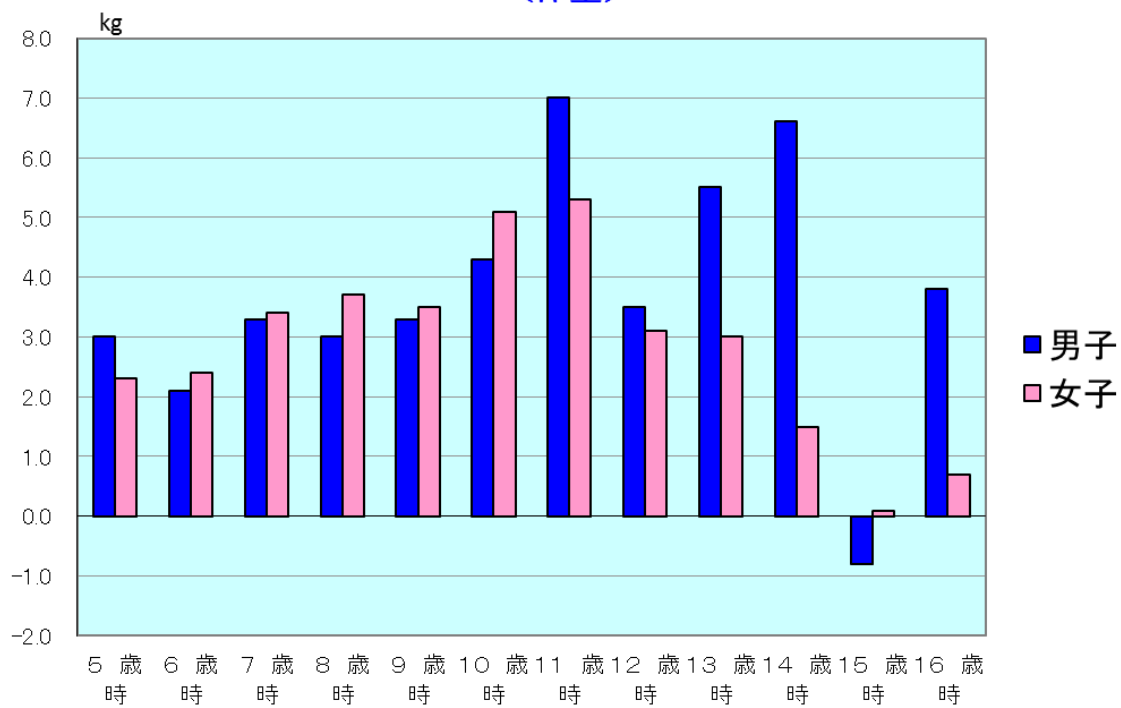


表3 親の世代である30年前（昭和61年度調査）との比較

身長

(単位: cm)

区分		男子			女子		
		平成28年度	昭和61年度	差	平成28年度	昭和61年度	差
		A	B	A-B	A	B	A-B
幼稚園	5歳	110.5	110.9	△ 0.4	109.7	110.0	△ 0.3
小学校	6歳	116.3	116.7	△ 0.4	115.8	115.5	0.3
	7歳	122.0	122.3	△ 0.3	121.2	121.2	0.0
	8歳	127.8	127.6	0.2	127.5	126.8	0.7
	9歳	133.7	132.9	0.8	133.8	132.8	1.0
	10歳	139.2	137.5	1.7	140.3	138.5	1.8
	11歳	144.8	143.2	1.6	146.2	145.7	0.5
中学校	12歳	152.7	150.5	2.2	151.6	151.1	0.5
	13歳	159.7	157.4	2.3	155.0	154.6	0.4
	14歳	165.1	163.9	1.2	156.2	156.4	△ 0.2
高等学校	15歳	168.7	167.6	1.1	157.3	156.8	0.5
	16歳	170.0	170.3	△ 0.3	157.1	157.6	△ 0.5
	17歳	171.1	170.4	0.7	157.4	157.7	△ 0.3

体重

(単位: kg)

区分		男子			女子		
		平成28年度	昭和61年度	差	平成28年度	昭和61年度	差
		A	B	A-B	A	B	A-B
幼稚園	5歳	18.8	19.1	△ 0.3	18.6	18.7	△ 0.1
小学校	6歳	21.4	21.4	0.0	21.2	20.7	0.5
	7歳	23.9	23.9	0.0	23.2	23.0	0.2
	8歳	27.1	26.4	0.7	26.9	25.7	1.2
	9歳	30.8	29.5	1.3	30.5	29.3	1.2
	10歳	34.4	32.6	1.8	34.0	33.1	0.9
	11歳	38.3	36.9	1.4	38.2	38.1	0.1
中学校	12歳	44.0	42.8	1.2	43.9	43.4	0.5
	13歳	48.9	47.7	1.2	47.4	47.2	0.2
	14歳	54.0	53.6	0.4	50.2	50.0	0.2
高等学校	15歳	59.5	58.1	1.4	51.1	52.0	△ 0.9
	16歳	61.2	61.1	0.1	52.6	52.0	0.6
	17歳	63.4	60.8	2.6	52.7	52.8	△ 0.1

図3-1 30年前（昭和61調査）との比較（男子）

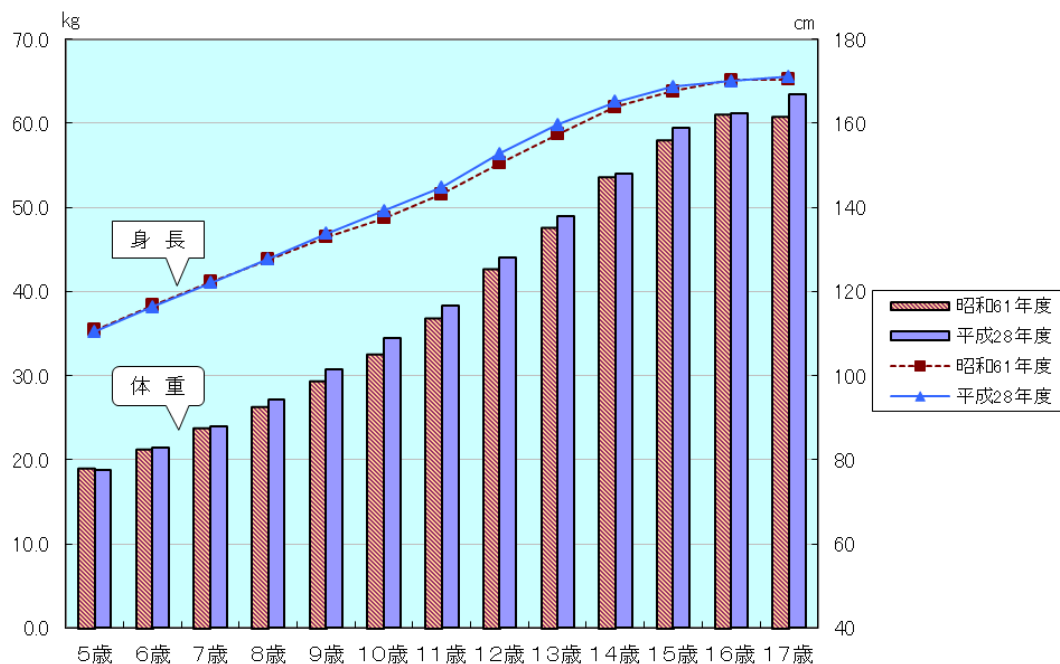


図3-2 30年前（昭和61年度調査）との比較（女子）

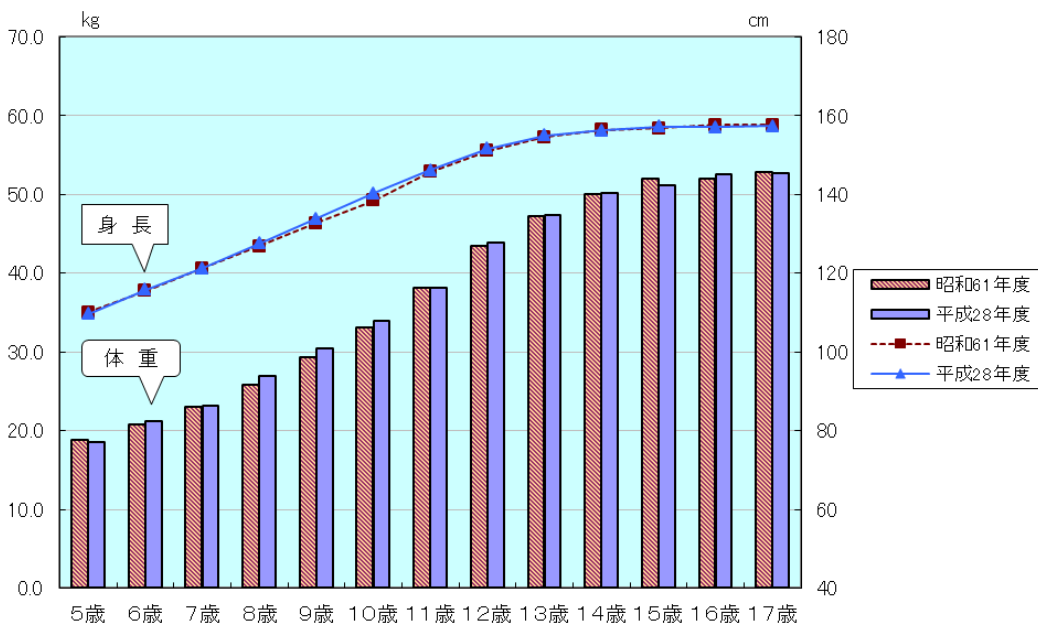


表4 肥満傾向児及び痩身傾向児の出現率

(単位: %)

区分	幼稚園	小学校						中学校			高等学校			
	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	
肥満傾向児	和歌山	2.53	5.81	5.69	7.28	9.38	8.10	8.89	9.46	8.36	8.64	8.83	9.72	10.09
	男	2.03	5.33	5.89	6.78	9.67	10.72	10.65	10.60	8.90	9.40	12.55	10.21	12.26
	女	3.03	6.32	5.47	7.81	9.08	5.34	6.99	8.30	7.81	7.86	4.84	9.21	7.91
	全国	2.56	4.30	5.47	7.15	8.32	8.96	9.22	9.52	7.88	7.88	9.72	8.40	9.30
痩身傾向児	和歌山	0.29	0.62	0.60	0.43	1.69	3.03	3.78	3.01	2.33	2.32	1.31	1.71	1.36
	男	0.37	1.03	0.75	0.40	1.75	4.53	3.53	2.50	1.87	1.77	1.35	2.22	0.97
	女	0.21	0.19	0.44	0.47	1.62	1.45	4.05	3.53	2.80	2.88	1.28	1.20	1.75
	全国	0.33	0.43	0.52	1.12	1.66	2.74	2.96	3.50	2.74	2.24	2.69	2.05	1.86
	男	0.24	0.45	0.41	1.16	1.48	2.49	2.94	2.75	2.04	1.84	3.07	2.25	2.21
	女	0.44	0.40	0.64	1.07	1.86	2.99	2.99	4.29	3.47	2.67	2.30	1.84	1.51

※ 肥満・痩身傾向児については、性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を算出し、肥満度が20%以上の者を肥満傾向児、-20%以下の者を痩身傾向児としている。

$$\text{肥満度(過体重度)} = [\text{実測体重(kg)} - \text{身長別標準体重(kg)}] / \text{身長別標準体重(kg)} \times 100(\%)$$

※ 身長別標準体重(kg) = a × 実測身長(cm) - b

年齢	男		女	
	a	b	a	b
5	0.386	23.699	0.377	22.75
6	0.461	32.382	0.458	32.07
7	0.513	38.878	0.508	38.36
8	0.592	48.804	0.561	45.00
9	0.687	61.390	0.652	56.99
10	0.752	70.461	0.730	68.09
11	0.782	75.106	0.803	78.84
12	0.783	75.642	0.796	76.93
13	0.815	81.348	0.655	54.23
14	0.832	83.695	0.594	43.26
15	0.766	70.989	0.560	37.00
16	0.656	51.822	0.578	39.05
17	0.672	53.642	0.598	42.33

出典:公益財団法人日本学校保健会『児童生徒の健康診断マニュアル(改訂版)』平成27年

図4-1 肥満傾向児の出現率

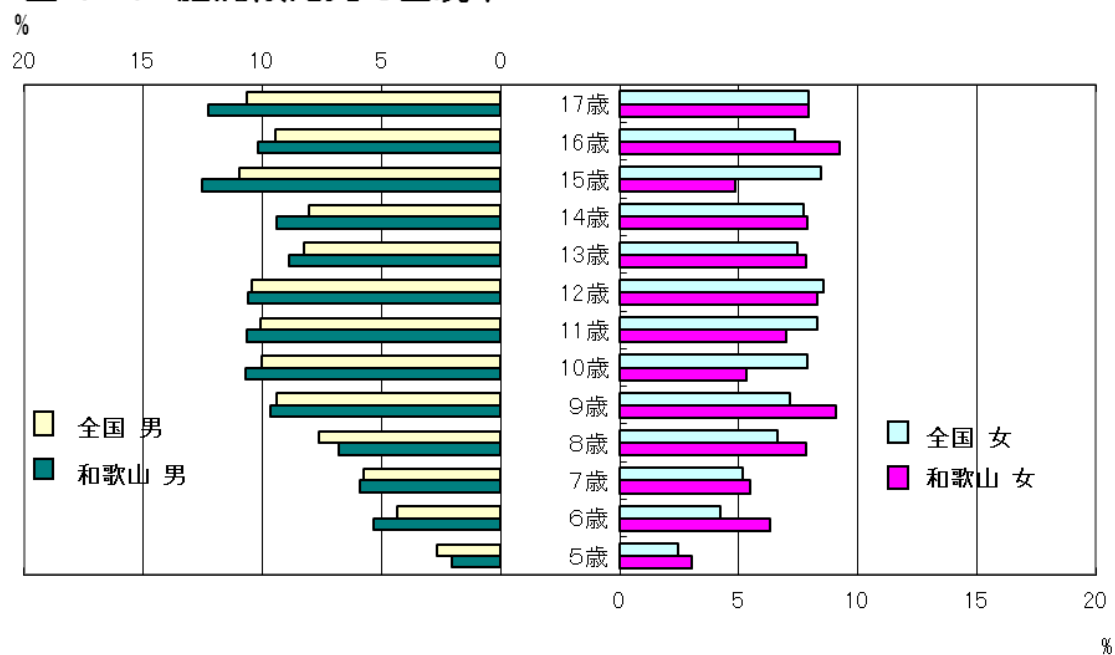
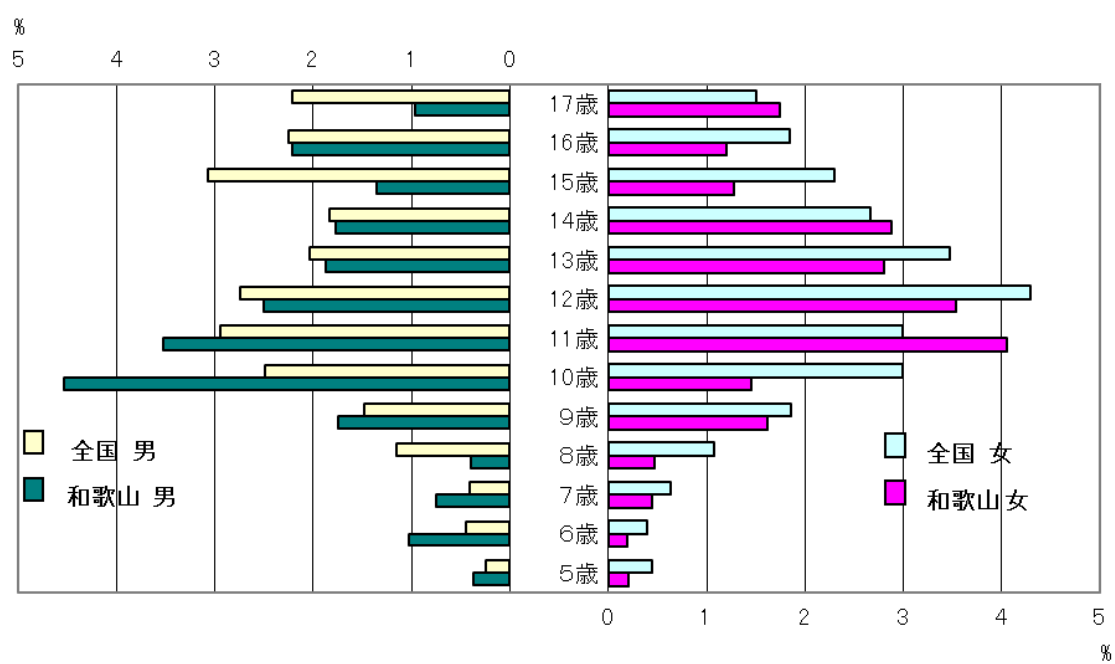


図4-2 痩身傾向児の出現率



健康状態

1. 主な疾病・異常等の被患率…表5、図5

「裸眼視力 1.0 未満の者」の割合は、小学校 29.4%、中学校 51.3%、高等学校 62.4%となっており、全国値と比較すると、すべての学校区分で下回っています。

「眼の疾病・異常」の割合は、幼稚園 5.0%、小学校 8.9%、中学校 6.3%、高等学校 9.8%となっており、全国値と比較すると、すべての学校区分で上回っています。

「鼻・副鼻腔疾患」の者の割合は、幼稚園 2.1%、小学校 14.0%、中学校 10.7%、高等学校 3.4%となっており、全国値と比較すると、小学校で上回っています。

「むし歯(う歯)」の者の割合は、幼稚園 35.0%、小学校 52.9%、中学校 34.9%、高等学校 57.6%となっており、全国値と比較すると、小学校と高等学校で上回っています。

「アトピー性皮膚炎」の者の割合は、幼稚園 2.7%、小学校 2.0%、中学校 1.6%、高等学校 1.9%となっており、全国値と比較すると、幼稚園で上回っています。

「ぜん息」の者の割合は、幼稚園 1.1%、小学校 3.0%、中学校 1.0%、高等学校 0.9%となっており、年齢別では、8歳(3.7%)で最も高く、次に11歳(3.5%)の順となっています。なお、全国値と比較すると、すべての学校区分で下回っています。

表5 主な疾病・異常等の被患率

(単位: %)

		裸眼視力1.0 未満	眼の疾病・ 異常	鼻・副鼻腔 疾患	むし歯(う歯)	アトピー性 皮膚炎	ぜん息
幼稚園	和歌山県	X	5.0	2.1	35.0	2.7	1.1
	全 国	27.94	1.87	3.58	35.64	2.39	2.30
小学校	和歌山県	29.4	8.9	14.0	52.9	2.0	3.0
	全 国	31.46	5.38	12.91	48.89	3.18	3.69
中学校	和歌山県	51.3	6.3	10.7	34.9	1.6	1.0
	全 国	54.63	5.12	11.52	37.49	2.65	2.90
高等学校	和歌山県	62.4	9.8	3.4	57.6	1.9	0.9
	全 国	65.98	3.43	9.41	49.18	2.32	1.91

※ 「X」は、標本サイズが小さい等のため、統計数値を公表しておりません。

図5 アトピー性皮膚炎とぜん息の被患率（年齢別）

